

平成31年4月25日

報道機関各位

2019年度 環境・地質研究本部 (環境科学研究センター、地質研究所) 調査研究成果発表会のご案内

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部（環境科学研究センター、地質研究所）は、最近取り組んだ調査研究の内容や成果について、道民の皆様に広くお知らせするため、次のとおり成果発表会を開催いたします。

成果発表会には、どなたでも参加できます（参加無料）。

プログラムの詳細につきましては、別添プログラムまたはホームページをご覧ください。

◆地質研究所（5月13日）

平成30年北海道胆振東部地震に関する研究、北海道沿岸地域における海底活断層調査に関する研究、伊達市北湯沢地区における温泉資源の利用実態と湧水機構に関する研究などの成果とその活用策をわかりやすくご紹介します。

◆道総研 戦略研究（エネルギー）（5月14日午前）

地中熱などの再生可能エネルギーに関する研究、廃棄物からエネルギーを回収する研究など道総研 戦略研究*の研究成果についてもご紹介します。

*道総研戦略研究とは

道総研の総合力を発揮して、企業、大学、国の研究機関、市町村等との緊密な連携の下、道の重要な施策等に関わる分野横断的な課題について戦略的に取り組む研究です。

◆環境科学研究センター（5月14日午後）

網走湖における長期的環境変化に関する研究、日本でも有数の透明度を誇る摩周湖における霧に関する研究、北海道の湿原に関する研究、昨年106年ぶりに確認された利尻島におけるヒグマ上陸、エゾシカの捕獲方法に関する研究など、研究成果とその活用策をわかりやすくご紹介します。

【開催情報】

◎日時

- ・平成31年5月13日（月）13：30～17：10（地質研究所）
- ・平成31年5月14日（火）10：20～11：50（戦略研究（エネルギー））
- ・平成31年5月14日（火）13：30～16：50（環境科学研究センター）

◎場所

北海道立道民活動センター（かでの2・7）4F 大会議室
（住所：札幌市北区北2条西7丁目）

◎参加費・申込み

無料（ただし、事前申し込みが必要です）

◎報道（取材）にあたってのお願い

多くの方々にご参加いただけるよう、事前報道にご協力をお願いします。

取材をされる場合、受付にてその旨お申し出ください。

発表者への個別取材を希望される場合は、時間調整等をさせていただきます。

◎ホームページ（環境科学研究センター、地質研究所HPからご覧いただけます。）

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/ies/information/lecture.html>

お問合せ

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

環境・地質研究本部 企画調整部企画課

電話 011-747-3525 ※平日8:45～17:30（土・日・祝日はお休みです。）

※プログラムの申込期限は5月8日（水）としていますが、それ以降でも受付いたします。



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

Institute of Environmental Sciences



Geological Survey of Hokkaido

2019(令和元) 年度

環境・地質研究本部

調査研究成果発表会

日程 2019(令和元)年 5月13日(月)・14日(火)

会場 北海道立道民活動センター(かでの2・7)4F 大会議室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

地質研究所

5月13日(月) 13:10 ~ 17:10
(ポスター発表15:10~16:10)

道総研 戦略研究*(エネルギー)

5月14日(火) 10:20 ~ 11:50
(ポスター発表14:40~15:40)

環境科学研究センター

5月14日(火) 13:30 ~ 16:50
(ポスター発表14:40~15:40)

参加申込方法

参加無料

5/8(水)までに、申込書もしくはメール・FAX・郵送のいずれかで、参加日(5/13・5/14)・所属・職・氏名・住所・電話番号を明記の上、お申し込みください。

申込先・お問い合わせ

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
環境・地質研究本部 企画調整部 企画課

〒060-0819 札幌市北区北19条西12丁目
TEL: 011-747-3532 FAX: 011-747-3254
E-mail: eg-moushikomi@ml.hro.or.jp

* 戦略研究とは

道総研内の複数の研究分野、及び大学や企業等との連携を効果的に活用し戦略的に推進する、北海道の重要な施策等に関わる分野横断型の研究。



6月5日環境の日
6月は環境月間です

11:30 ～ 13:10 ● 受付・ポスター展示

13:10 ～ 13:20 ● 開会挨拶

13:20 ～ 15:10 ● 口頭発表「平成30年北海道胆振東部地震」

○平成30年北海道胆振東部地震と残された課題 …………… 高橋 浩晃
 （北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 教授）

○北海道胆振東部地震に伴い発生した地盤液状化災害 …………… 廣瀬 亘

○厚真町周辺における斜面崩壊と発生場 …………… 石丸 聡

○胆振東部地震における災害復旧事業申請について …………… 矢野 明
 （北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部 治水課長）

15:10 ～ 16:10 ● ポスター発表・休憩

16:10 ～ 17:00 ● 口頭発表

○北海道沿岸海域における海底活断層調査の現状と課題
 ～断層活動性評価の向上にむけて～ …………… 内田 康人

○伊達市北湯沢温泉の利用実態および湧出機構の解明
 ～温泉資源の持続的な利活用にむけて～ …………… 大森 一人

○天然地質材料に吸着した重金属の安定性
 ～安全な掘削土対策のために～ …………… 野呂田 晋

17:00 ～ 17:10 ● 閉会挨拶

ポスター発表プログラム

- 電磁探査および重力探査による地下構造の推定
 重点研究「ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価」中間報告 …………… 岡 大輔
- 放射能探査および自然電位探査による熱水流動経路の把握
 重点研究「ニセコ地域における地熱構造モデル構築と地熱資源量評価」中間報告 …………… 鈴木 隆広
- 骨材資源分布図の開発～将来の骨材資源の安定的な供給をめざして～ …………… 垣原 康之
- 日本海沿岸漁業振興のための流域圏環境情報の見える化の試み
 ～檜山管内乙部町における事例～ …………… 檜垣 直幸
- 不安定岩盤の把握を目的としたUAVによる亀裂面の推定
 ～北海道日本海沿岸の急崖を対象に～ …………… 輿水 健一
- 十勝平野断層帯の海域部調査から判明した活動状況 …………… 内田 康人
- 旧幌別硫黄鉱山坑内水・坑道湧水の石灰石連続中和実験
 ～鉱山廃水の中和処理コスト低減に向けて～ …………… 野呂田 晋
- 地中レーダー探査による周氷河堆積物の内部構造の可視化 …………… 加瀬 善洋



- 9:20 ~ 10:20 ● 受付・ポスター展示
- 10:20 ~ 10:30 ● 開会挨拶
- 10:30 ~ 11:50 ● 口頭発表（環境科学研究センター、地質研究所 戦略研究担当）
 - 道内温泉の地理的特徴と熱エネルギーとしての利用可能性 …………… 鈴木 隆広
 - 地下環境に基づく地中熱ポテンシャルマップの作成 …………… 森野 祐助
 - 自治体が処理する有機系廃棄物からのエネルギー回収 …………… 阿賀 裕英
 - 地図で見る再生可能エネルギー …………… 小野 理

ポスター発表プログラム

- 漁村地域における再生可能エネルギーの利活用について
～コンブ乾燥システムを念頭においた再生可能エネルギーの利用検討～ …………… 丹羽 忍



- 11:50 ~ 13:30 ● 受付・ポスター展示
- 13:30 ~ 13:40 ● 開会挨拶
- 13:40 ~ 14:40 ● 口頭発表（環境保全部）
 - 網走湖における長期的環境変化の評価 …………… 三上 英敏
 - この霧 なんの霧 摩周の霧 …………… 山口 高志
 - 北海道における化学物質シミュレーションモデルの活用 …………… 永洞 真一郎
- 14:40 ~ 15:40 ● ポスター発表・休憩
- 15:40 ~ 16:40 ● 口頭発表（自然環境部）
 - 効果的なエゾシカ捕獲の普及に向けて …………… 上野 真由美
 - 電気柵によってエゾシカを誘導できるか？ …………… 稲富 佳洋
 - 利尻島へのヒグマ上陸と管理対応 …………… 間野 勉
- 16:40 ~ 16:50 ● 閉会挨拶

ポスター発表プログラム

- 大沼の水質汚濁原因～降雨時の集水域からの負荷の影響～ …………… 鈴木 啓明
- 釧路湿原流域における未利用農地のグリーンインフラ機能
～湿原への汚濁負荷削減と未利用農地の有効活用に向けて～ …………… 木塚 俊和
- 北海道におけるPM_{2.5}汚染の状況について …………… 大塚 英幸
- 生体高分子を用いたヒ素の特異的分離法の検討 …………… 仮屋 遼
- 札幌市に生息するヒグマ～個体識別調査からわかったこと～ …………… 釣賀 一二三
- 道東地域でのエゾシカ牧草被害及び出没状況 …………… 長 雄一
- 生物多様性から見た農村地域における自然環境の現状と評価
～ため池の水質と魚類相、防風林～ …………… 石川 靖
- 農村地域における草原性鳥類の環境利用パターン …………… 玉田 克巳

会場 北海道立道民活動センター(かでの2・7)4F 大会議室



札幌市中央区北2条西7丁目

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部

北海道の大気、水、自然、廃棄物、地質、地熱・温泉、防災・減災（地震や火山）など、道民が安全で安心そして豊かな生活ができる環境づくりと地域資源を活用した地域振興や産業振興への貢献を目指した研究をしています。

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/>

環境科学研究センター



環境保全部
循環資源グループ
水環境グループ
リスク管理グループ

大気汚染、水質汚濁、化学物質による環境汚染、地球温暖化や廃棄物、野生動植物の保護管理などに関する調査研究を実施しています。

自然環境部
生物多様性保全グループ
道東地区野生生物室
道南地区野生生物室

札幌市北区北19条西12丁目
TEL 011-747-3521
FAX 011-747-3254

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/ies/>

地質研究所



地域地質部
地質情報グループ
地質防災グループ
資源環境部
資源環境グループ
沿岸・水資源グループ

全道の地質的な特性を踏まえた国土の利用や保全対策、地震・火山等、地質に関わる自然災害の防止、地下資源開発、地下環境汚染、海洋地質等に関する調査研究を実施しています。

札幌市北区北19条西12丁目
TEL 011-747-2420
FAX 011-737-9071

<http://www.hro.or.jp/list/environmental/research/gsh/>